

令和6年度

事業計画書

公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団

目 次

1	令和6年度 事業運営の基本方針	2
2	事業の概要	4
3	事業計画	
	スポーツ事業	7
	芸術文化事業	
	音楽部門	11
	演劇部門	16
	美術部門	19
	文芸部門	22
	その他芸術文化部門	27
	生涯学習事業	28
	広報宣伝・友の会事業	31
	施設管理・全館融合事業	32
4	組織図	34

令和6年度 事業運営の基本方針

1 スポーツ事業

- (1) 誰もが身近にスポーツを楽しめるように、スポーツ教室、施設提供等を通じて、市民一人ひとりが目的や目標を持ってライフステージに応じた多様なスポーツ活動に親しむ機会を提供し、スポーツ実施率の向上を図ります。
- (2) スポーツ情報の発信を充実するとともに、様々なスポーツ活動を支える指導者やボランティアの人財育成とその支援に努め、市民の活躍の場を創出します。
- (3) 市民の健康保持や健康増進、介護予防等のため、運動習慣の定着、スポーツを通じた健康づくり事業を実施します。
- (4) スポーツ団体、事業者等との連携・協力により、市民満足度の向上と市民の利用促進につながる事業を展開します。
- (5) 三鷹市と連携しながら、障がい者スポーツの普及や魅力発信を行うとともに、パラスポーツ及び障がいに対する理解を広める事業及びインクルーシブ事業を実施します。

※インクルーシブ事業：障がいの有無、国籍、年齢などに関係なく、多様性を認め合い、すべての人が尊重し合って自然に支え合える事業

2 芸術文化事業

- (1) 地域や施設の特性を踏まえたオリジナリティのある公演事業や展示事業を企画し、市民の皆様国内外の優れた芸術文化に親しみ、鑑賞する機会を提供します。
- (2) 市民の自主的な芸術文化活動の場として施設を提供し、その活動を支援するとともに、親しみを持って施設を利用していただけるよう、適正な施設運営に努めます。
- (3) 市民が安全・安心・快適に芸術文化施設を利用することができるよう、施設・設備の予防的な保全に努めるため、計画的な点検と改修を実施します。
- (4) 次代を担う子どもたちに芸術文化の楽しさや素晴らしさを体験する機会を提供することにより、児童・青少年の健全育成に取り組むとともに、学校との連携を図りながら積極的に教育普及事業を実施します。
- (5) 三鷹ゆかりの作家や作品の顕彰事業を推進するとともに、財団が管理する文化施設を適正に維持管理し、公開しながら「文化のまち・三鷹」を発信します。
- (6) 年齢、文化の違い、障がいの有無等にかかわらず、誰もが気軽に様々な手法で、多様な芸術文化に触れられる機会の提供を目指します。

3 生涯学習事業

- (1) 市民一人ひとりのライフスタイルやライフステージに沿った学習機会を提供するとともに、生涯学習情報を提供し、学習相談、学びを支援するコーディネーター機能の充実を図ります。
- (2) 多様化・高度化する市民ニーズに対応した講座を開催し、市民満足度の向上を目指します。
- (3) 市民の主体的な生涯学習活動を支援するとともに、障がい者、子育て中の市民など学習困難な方々への学習機会を支援します。

- (4) 三鷹市芸術文化協会、事業者等との連携を図りながら多彩な生涯学習事業を展開します。
- (5) 生涯学習ボランティア等の人財を育成するとともに、市民が学習成果を地域に還元する「学びと活動の循環」を構築し、人とのつながりを創出します。

事業の概要

各事業においては、事業運営の基本方針に基づき、市民生活に活力を与えられるような魅力ある事業を引き続き実施していきます。

スポーツ事業では、市民のニーズを的確にとらえ、誰もが気軽に参加できる事業を実施し、生涯にわたり元気で健やかなスポーツライフを過ごせるよう支援していきます。働き世代、子育て世代、高齢世代、次世代を担う子どもなど各世代のライフステージとライフスタイルに応じた様々なスポーツ教室事業及びバドミントン、卓球等の種目別の個人開放事業を実施します。また、市民の健康の保持増進、介護予防等のために、専門的な知識・経験を持ったスタッフにより一人ひとりに合った運動プログラムを提供する健康・体力相談事業など健康づくり事業の支援を充実させます。三鷹市スポーツ協会、地域スポーツクラブ等と連携し運動習慣の定着に向けてより多くの市民に運動する機会を提供するとともに、誰もが楽しめるインクルーシブな大会等を含むスポーツイベント事業、子どもの運動習慣定着事業、障がい者スポーツ教室事業などを実施します。

芸術文化事業の各部門では、各文化施設においてオリジナリティのある事業を展開することにより、「文化の薫り高い三鷹」を目指して芸術文化の振興に努めていきます。

音楽部門では、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニアをはじめとする国内外トップクラスのクラシックの音楽家に加え、ストリーミング時代以降の音楽文化を象徴する、ジャンルや時代を横断するアーティスト、邦楽界の若手演奏家による多彩な公演を開催します。公演によってはそれぞれの音楽の背景にある物語への共感や理解を深める体験講座や教育プログラムを実施するなど、三鷹ならではのユニークな音楽体験を提供し、聴衆層を広げる取組みも行います。みたかジュニア・オーケストラは、令和6年に結団25年を迎えることから、記念演奏会を開催します。引き続き演奏技術の向上と活動の充実を図るとともに、団員募集に力を入れてまいります。また、市内公立小学校全校への訪問演奏（三鷹市教育委員会からの受託事業）や未就学の子どもと家族を対象としたファミリーコンサートを実施し、幼い頃から音楽に親しめる環境作りに努めます。

演劇部門では、若手劇団の登竜門として定着しつつあるMITAKA“Next” Selectionをはじめ、今後の活躍が期待される劇団による、三鷹だけでしか見られないフレッシュな演劇企画を実施します。また、三鷹市ゆかりの作家太宰治を偲び太宰治朗読会も開催します。映画事業は、チャップリンの名作を上映します。さらに、親しみやすい伝統芸能として多くの集客を得ている落語公演・狂言公演では、人気も実力も兼ね備えた落語家・狂言師による公演を開催します。

美術部門では、5回目となる「収蔵作品展V」、京都・星野画廊のコレクションから女性たちをテーマに紹介する「発掘された珠玉の名品 少女たち」展の2展示事業を実施します。異なったジャンルの展示により来場者層を広げるとともに、三鷹市教育委員会やNPO団体との連携を図り、教育普及事業の展開を探ります。

また、三鷹市との共催で、現代芸術家、荒川修作の創作活動を紹介する「天命反転～荒川修作+マドリン・ギンズが仕掛けた思考実験と冒険の世界（仮称）」を実施するとともに、今年度から新たに「アール・ブリュットみたか」を、財団を事務局として実行委員会形式で実施し、多様な芸術文化に触れられる機会を提供します。

※アール・ブリュット：専門的な美術教育を受けていない人が、湧き上がる衝動に従って自分のために制作するアート

文芸部門では、三鷹市山本有三記念館において、山本有三の没後 50 年の記念事業として、有三の絶筆となった小説「濁流 雑談 近衛文麿」や、戯曲と小説それぞれに代表作を持つ有三作品の魅力に着目した企画展を開催します。また、市場に流通していない作品を文庫本として復刊し、作品の周知や企画展との連動に努めます。ガイドボランティア事業では、来館者サービスの更なる充実を図ります。教育普及事業では、子どもを対象とする「おはなし会」やワークショップ、建物探検イベントを実施します。また、スケッチコンテストや館内で楽器演奏を鑑賞する「アフタヌーン・ミニコンサート」や朗読会を開催し普及・啓発に努めます。太宰治文学サロンでは、来館者がコーヒー等を飲みながら「山内祥史文庫」や寄贈書籍を閲覧できるブックカフェとしてのスペースを提供するほか、太宰治作品朗読会を毎月開催します。さらに、太宰治展示室「三鷹の此の小さい家」では、作家や芸術家との交流を通じて太宰の生涯及び作家活動を描く企画展示を開催するほか、太宰治の魅力を発掘する読書感想会を開催します。太宰治文学サロンと太宰治展示室の回遊性を高めることにより「太宰が生きたまち三鷹」の発信力を更に強化します。みたか井心亭では、茶道体験教室と華道体験教室を開催し、日本の伝統文化を体験できる機会を提供するとともに、施設の活用に努めます。三鷹市吉村昭書斎では、吉村昭が執筆活動を行っていた書斎建物を公開するとともに、吉村昭の遺愛品や書籍などを展示し、吉村昭の業績や作品の周知に取り組みます。

生涯学習事業では、年間を通じて実施する市民大学事業をはじめ、みたか学、人財養成講座、趣味・教養講座、小・中学生向けの体験講座等を実施し、多くの市民に学習の機会を提供します。また、令和 6 年度から、小中学生の居場所づくりや多世代交流を目的とした「子どもふらっとスペース事業」や元気創造プラザ全館融合事業の一環として元気創造プラザ連携講座をスタートします。また、個人の生涯学習を支援するため、夏休み自主学習スペースの開放時間を延長するとともに、夏休み以外の期間においても土日祝日を含め毎日学習室を開放します。そのほか、生涯学習センターの自主グループが中心となって企画する生涯学習センターフェスティバル、個人やグループからの学習要望などに応じる相談業務を実施します。

広報宣伝・友の会事業では、情報誌（MARCL+）と広報紙（Mitaka Sports and Culture News）を財団全体の事業を発信する主要な媒体と位置付け、情報発信の充実を図るとともに、ホームページやX（旧ツイッター）、プレスリリースなどを利用した広報活動を行います。また、友の会会員への特典では、公演チケットに関するサービスに加え、引き続きスポーツ教室体験チケットの提供を実施します。

施設管理・全館融合事業においては、設備、備品の適切な維持管理を行い、市民が安心して訪れることができる快適な施設環境を整えるとともに、利用者サービスの向上に継続

的に取り組み、施設利用率の向上を目指します。令和6年度からは、三鷹市芸術文化センターほか5つの文化施設について、あらためて指定管理者として指定を受け、引き続き5年間、施設の管理運営に取り組んでいきます。併せて令和6年3月に開館した三鷹市吉村昭書斎の管理運営にあたり文芸事業の充実を図ります。

三鷹中央防災公園・元気創造プラザについては、令和5年度に引き続き全館融合事業を実施し、同プラザが市民にとってさらに居心地の良い場所となることを目指します。

<事業分類の説明>

◆自主事業（定款第4条 第1号事業）

公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団（以下「財団」という。）が、三鷹市等から助成を受け、主体的に企画運営するスポーツ、芸術文化及び生涯学習の振興に資する事業

◆指定管理事業（定款第4条 第2号事業）

指定管理者の指定を受けた財団が実施するスポーツ施設、文化施設、生涯学習施設及び公園等の管理運営に関する事業

◆受託事業（定款第4条 第3号事業）

専門性を有する財団が、三鷹市等の委託を受けて行うスポーツ事業、芸術文化事業及び生涯学習事業

◇教育普及事業

芸術文化事業（音楽・演劇・美術・文芸・その他）において、市民の興味、関心等を高めるために実施しているワークショップや講座などの体験・参加型プログラム、若年層向けの育成型プログラムなどの事業

<各事業における表記の説明>

新規 …令和6年度に新規に実施する事業

ただし、コンサートや展示などその事業自体が、新規に実施されるものは除く。

スポーツ事業

<令和6年度の特徴>

- ★1 健康・体力相談事業及び三鷹市総合保健センターとの連携事業では、運動習慣のない方の運動の習慣化や特定健診対象者の生活習慣病予防・改善を目的に、スポーツを日常生活に取り入れた健康づくりを支援します。
- ★2 スポーツ教室事業を中心に、受託事業者、三鷹市スポーツ協会及び総合型地域スポーツクラブと連携し運動習慣の定着に向けてより多くの市民に運動の機会を提供します。
- ★3 子どもの運動習慣定着事業では、スポーツと健康の調査・研究事業の成果を踏まえ、子どもの運動実施率の向上を図るため、日本女子体育大学との連携を含め子どもを対象とした運動遊び体験教室などを拡充します。

自主事業（6事業）

1 健康・体力相談事業 ★1

市民の健康の保持と健康増進、介護予防等のため、トレーニング室で「健康・体力相談事業」を実施します。健康・体力づくりを支援する専門的な知識・経験を持ったスタッフが、一人ひとりに合った運動プログラムを提供します。事業PRを強化することなどにより利用者数の増加を目指し、市民の健康増進を図ります。（予約制）

2 スポーツ教室事業 ★2

ライフステージやライフスタイルに応じたスポーツ教室を開催します。スポーツ教室では様々な世代の方の、各自の体力やスキル・レベルの違いに対応したプログラムや介護予防などを目的としたプログラムを実施します。また、子育て世代をターゲットに、お子様がキッズ教室を受講中に保護者の方が同時刻にワンコイン（500円）で受講することができる教室や、自宅でスポーツができるオンラインプログラムを実施します。運動習慣の定着に向けて引き続き各スポーツ教室において「三鷹体操」又は「みたかダンス」を実施するほか、ウォーキング教室開催による屋外スポーツ教室の充実など、より多くの市民に運動の機会を提供します。 各4クール（1クール3か月）

① 定期教室	1クール	100教室	計	400教室
② ワンコイン教室	1クール	20教室	計	80教室
③ パーソナルスイム教室	1クール	6教室	計	24教室
④ オンラインプログラム	1クール	1教室	計	4教室

3 地域連携事業

- (1) 親子バスケットボール教室（協力：日本無線株式会社）

親子で参加する教室を通して、親子のふれあいや参加者同士の交流の場となるよう「親子バスケットボール教室」を開催します。 1回

(2) バレーボール教室（協力：日本無線株式会社）

バレーボールを通じて多くの方々にスポーツの楽しさや体を動かすことの素晴らしさを体験してもらうことを目的に「バレーボール教室」を開催します。 1回

(3) 親子野外キャンプ教室（協力：国際基督教大学）

親子でデイキャンプに参加することで、楽しい環境の中で健康で活動的であることの大切さを学び、屋外での活動を通じて友だちとの遊びからコミュニケーション能力を育み、体を動かすことの楽しさを体験してもらうことを目的に「親子野外キャンプ教室」を開催します。 1回

4 三鷹市スポーツ協会等との連携事業 ★2

(1) ちびっこ水遊び教室

三鷹市スポーツ協会加盟団体の三鷹市水泳連盟と連携し、就学前の子どもの水慣れと親子のコミュニケーションを目的に「ちびっこ水遊び教室」を開催します。 1回

(2) すもう体験教室

三鷹市スポーツ協会加盟団体の三鷹市相撲連盟と連携し、初めて相撲を体験する幼児から小学3年生までの親子と4年生から6年生までの小学生を対象に「すもう体験教室」を多目的体育室で開催します。 1回

(3) その他のスポーツ教室

三鷹市スポーツ協会、地域スポーツクラブ等と連携しスポーツ教室を開催します。

5 三鷹市との共催事業（スポーツイベント事業）

(1) みたかスポーツフェスティバル

「みたかスポーツフェスティバル」を三鷹市と共催することにより、著名人による親子体操教室、ボッチャ体験会、パラスポーツ体験会や展示等を開催し、スポーツに親しむ機会の提供やSUBARU総合スポーツセンターの利用の促進を図ります。 1回

(2) 三鷹市民駅伝大会

「三鷹市民駅伝大会」を三鷹市と共催することにより、市民スポーツの推進と交通安全、防犯、青少年の健全育成などの啓発を図り、明るく健康的な市民生活と活力に満ちたまちづくりに寄与します。また、関連講座として「ランニングのためのコンディショニング講座」を開催します。 1回・1講座

(3) ボッチャみたかカップ

「ボッチャみたかカップ」を三鷹市と共催し、幼児から大人まで、障がいの有無にかかわらず誰もが楽しめるインクルーシブな大会として交流を深めます。市内におけるボッチャの普及や多世代交流を進め、パラスポーツ及び障がいに対する理解を広める機会を提供します。 1回

(4) 東京ボッチャ選手権大会（兼関東選手権大会東京予選会）

東京ボッチャ協会及び三鷹市と「東京ボッチャ選手権大会」を共催し、障がい者スポーツの普及や魅力発信、障がいへの理解を広める機会を提供します。当該選手権は、令和4年度及び5年度に引き続き令和6年度も三鷹市で開催される大会です。 1回

6 子どもの運動習慣定着事業 ★3

令和4年度から開始したスポーツと健康の調査・研究事業において、子どもの運動実施率向上を目的に、令和5年度に実施した子ども対象の運動遊び体験教室などを日本女子体育大学との連携を含め拡充します。 4回

指定管理事業（4事業）

1 障がい者スポーツ教室事業

(1) 障がい児サッカー教室

支援が必要な未就学児と教育支援学級に通う小学生等を対象に、スポーツのきっかけづくりとなる初心者向け「障がい児サッカー教室」を開催します。 2回



障がい児サッカー教室

(2) 障がい者ダンス体験教室

年齢や性別、障がいの程度に関わらず、誰でも体を動かす楽しさを体験することができる「障がい者ダンス体験教室」を開催します。 1回

2 種目別個人開放事業

少人数でもスポーツを楽しむことができるよう、個人を対象とする体育施設の「種目別個人開放事業」を実施し、SUBARU総合スポーツセンターの利用の促進を図ります。種目は、次のとおりです。

- | | |
|------------|--------|
| ① 卓球 | 週1日～2日 |
| ② バドミントン | 週1日～2日 |
| ③ ヨガ、ストレッチ | 週1日～2日 |
| ④ バスケットボール | 週1日～2日 |
| ⑤ ボルダリング | 週1日～2日 |

3 スポーツボランティア支援事業

(1) 熱中症対応講習会

スポーツ大会などのイベント開催時の熱中症予防策や発症した方に対する適切な対処法を学ぶ「熱中症対応講習会」を開催します。 2回

(2) 普通救命講習会

スポーツ大会などのイベント開催時に事故などが発生したとき、救急隊員が到着するまでの間にとるべき適切な対応を学ぶ「普通救命講習会」を開催します。 2回

(3) 障がい者支援スキル講習会

スポーツ大会などのイベント開催時に障がいのある方が、楽しく安心してイベントに参加していただけるよう、必要な知識やスキルを学ぶ講習会を開催します。 2回

4 弓道・アーチェリー講習会事業

(1) 弓道初心者・初級者講習会及び技量認定会

弓道未経験者や初心者、一定の技量を持つ初級者を対象として講習会を開催します。また、技量認定会において個人・団体利用時に必要となる技量の認定と施設使用のためのオリエンテーションを実施します。 36回（月3回）

(2) アーチェリー初心者・初級者講習会及び技量認定会

アーチェリー未経験者や初心者、一定の技量を持つ初級者を対象として講習会を開催します。また、技量認定会において個人・団体利用時に必要となる技量の認定と施設使用のためのオリエンテーションを実施します。 48回（月4回）

受託事業（1事業）※三鷹市からの受託事業

1 三鷹市総合保健センターとの連携事業

(1) 体成分測定と簡単運動教室（特定健診受診促進事業） ★1

特定健診を断続的に受診している方を対象として、体成分測定による詳しい診査結果の説明を行い、生活習慣病予防・改善を目指した簡単運動教室を開催します。 1回

(2) 特定健診フォローアップ教室 ★1

特定健診を受診した方のうち、診査結果が一定の値を超えた方を対象として、3か月コース（月1回）の運動教室を開催します。1か月目と3か月目に体成分測定を行い、運動効果を実感することにより、生活習慣病予防・改善のための運動習慣を身に付けることを目的としたフォローアップ教室を開催します。 1回

スポーツ事業合計 11 事業（令和5年度比増減なし）

芸術文化事業

音楽部門

<令和6年度の特徴>

- ★1 昨年度に引き続きジャンルや時代を横断する国内外の若手アーティストの公演や十代を対象に据えた新たな教育プログラムを実施します。
- ★2 令和6年度に結団25周年を迎えるみたかジュニア・オーケストラの記念演奏会を実施します。
- ★3 「風のホールでピアノを弾こう！」では、新たに三鷹市民枠（在勤・在学を含む）を設けます。

自主事業（15事業）

1 鑑賞事業（12事業）

(1) トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア



沼尻竜典 氏



トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア

©Yusuke Takamura

芸術文化センター風のホールを活動拠点とする室内オーケストラ、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニアの定期演奏会を2公演開催します。同楽団の音楽監督は、神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、びわ湖ホール桂冠芸術監督を務める三鷹市出身の三鷹市名誉市民 沼尻竜典氏です。各公演とも公開リハーサルを行うほか、沼尻氏による市内小学校への訪問授業を実施します。 2公演（第89回定期演奏会・第90回定期演奏会）・3講座

(2) セバスチャン・ジャコー（フルート）&吉野直子（ハープ）

「フルート界のロックスター」とも評され、2022年秋よりベルリン・フィル首席奏者を務めるセバスチャン・ジャコーと、名実ともに日本のハープ界を牽引してきた第一人者であり、世界的な名手や巨匠たちと共演を重ね続ける吉野直子とのデュオ・リサイ

タルを開催します。吉野直子は国際基督教大学出身で、三鷹にゆかりのある国際的なアーティストです。 1公演

(3) フランチェスコ・トリスターノ ピアノ・リサイタル ★1

バッハの音楽及び近現代音楽、テクノをはじめとするエレクトロニック・ミュージックを自在に行き交う演奏活動と、坂本龍一のキュレーションによる「Glenn Gould Gathering」(2017年)、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」大河紀行での演奏、ピアニスト角野隼斗との共演も話題となったフランチェスコ・トリスターノ。バロック、近現代、自作曲をシームレスに繋ぐオリジナルなプログラムを演奏します。 1公演

(4) マルシン・ディラ ギター・リサイタル

ワシントン・ポスト紙に「この地上で最も才能あるギタリストの一人」と激賞され、近現代のギターの歴史に一大旋風を巻き起こしているマルシン・ディラ。1996年から2007年までの間に、世界最難関のGFA国際をはじめとする19もの国際ギターコンクールで優勝を果たした驚異のギタリストのリサイタルを開催します。 1公演

(5) LEO 箏リサイタル ★1

箏奏者としては異例のSUMMER SONIC、ブルーノート東京への出演を果たし、ジャンルを超えて新たな箏の可能性を追求する邦楽界の若き逸材、LEOの風のホール2度目のリサイタルを開催します。共演はドラマ「大豆田とわ子と三人の元夫」(2021年6月)挿入歌の作詞、NHK土曜ドラマ「17才の帝国」の音楽に参加したピアニストでシンガーソングライターのロー磨秀、チェロの伊藤ハルトシです。 1公演

(6) シュテファン・テミング リコーダー・リサイタル ★1

今は亡き天才リコーダー奏者兼指揮者、フランス・ブリュッヘンの再来とも言われる現代屈指の奏者、テミングのリサイタルを開催します。10本以上のリコーダーをドイツから持参し、縦横無尽に演奏する姿は圧巻。共演はバロック・ハーブのスペシャリスト、マルグレート・ケールです。関連企画として、テミングによる小・中学生を対象にしたワークショップ(こどものためのコンサート&ワークショップ)を開催します。

*令和2年度の振替公演です。 1公演 1講座

(7) 川口成彦 フォルテピアノ・リサイタル

ブルージュ国際古楽コンクール「フォルテピアノ部門」最高位(2016年)、第1回ショパン国際ピリオド楽器コンクール第2位(2018年)受賞の川口成彦による風のホール3度目のリサイタルです。今回は、ベートーヴェンと同時代を生きたピアノ2台(ヴァルター、ブロードウッド)を用いて演奏します。公演に先立ち、フォルテピアノ、

チェンバロ、クラヴィコードの製作修復を行う楽器製作家、太田垣至を講師に迎えて、ベートーヴェン時代のピアノをテーマに据えた講座を行います。 1公演 1講座

(8) アリーナ・イブラギモヴァ (ヴァイオリン) & セドリック・ティベルギアン (ピアノ)

バロック音楽から委嘱新作までピリオド楽器とモダン楽器の両方で演奏するアリーナ・イブラギモヴァ。風のホール2度目のリサイタルを開催します。共演ピアニストは前回(平成29年度)同様、セドリック・ティベルギアン(1998年ロン＝ティボー国際コンクール優勝、聴衆賞、オーケストラ賞を含む5つの特別賞を受賞)です。

※令和元年度「アリーナ・イブラギモヴァ 無伴奏ヴァイオリン・リサイタル」の振替公演 1公演



©Giorgia Bertazzi

(9) 上野耕平 (サクソフォン) × 山中惇史 (ピアノ) × 石若駿 (ドラム) ★1



第28回日本管打楽器コンクール第1位及び特別大賞、2014年第6回アドルフ・サックス国際コンクール第2位受賞のサクソフォン奏者上野耕平、ピアニストとしてのみならず、作曲家、編曲家としても多彩な活動を続けている山中惇史、クラシックとジャズのバックグラウンドを持ち、現代音楽やポップ・ミュージックに至るまで多岐に渡る演奏活動で知られる若手ナンバーワン・ジャズドラマー石若駿が一堂に会し、風のホールに初登場します。 1公演

(10) ミレニアル世代のアーティストによるソロ・コンサート ★1

デジタル・ネイティブなミレニアル世代の中でもクラシック、ジャズ、ポップ・ミュージックを横断する活動を展開するアーティストを選び、コンサートと小学生から高校生を対象とした教育プログラム(関連講座)を開催します。出演者は現在調整中です。

1公演・1講座

(11) レ・ヴァン・フランセ

名実ともに各管楽器の頂点に立つパユ（フルート）、ルルー（オーボエ）、メイエ（クラリネット）、ヴラトコヴィチ（ホルン）、オダン（バスン）と彼らのサウンドを鮮やかに支えまとめるピアニスト、ル・サージュから成る「レ・ヴァン・フランセ」による風のホール9度目のコンサートです。完璧なテクニックと群を抜く音楽性、豊かな音色で世界トップクラスに君臨する名手たちによる奇跡のアンサンブルは大変人気が高い公演です。関連講座として公開リハーサルを実施します。 1公演・1講座

(12) アヌーナ

「中世アイルランドの音楽を現代に甦らせる」というコンセプトのもと、1987年にアイルランド・ダブリンの作曲家マイケル・マクグリーンによって結成された男女混声の合唱団、アヌーナによるコンサートを開催します。 1公演

2 教育普及事業（3事業）

(1) みたかジュニア・オーケストラ



10月及び3月に風のホールで恒例の演奏会を開催します。また、市内のコミュニティセンターなどの訪問演奏会のほか、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア定期演奏会開演前のプレ・コンサート、山本有三記念館アフタヌーン・ミニコンサートに出演するなど、演奏機会の充実を図り、知名度アップに向けた取組を行います。 7公演

(2) みたかジュニア・オーケストラ結団25周年特別演奏会 ★2

令和6年に結団25周年を迎えることから、国際基督教大学と連携し、同大学のチャペルにてパイプオルガンを交えた特別演奏会を開催します。 1公演

(3) ファミリーコンサート

乳幼児のいるご家族を対象にしたコンサートを2公演実施します。「赤ちゃんからのクラシック」では、クラシックの名曲と童謡やジブリ映画の曲、オペラやミュージカルの人気作品を織り交ぜた選曲を行います。「絵本と音楽のコンサート」では、絵本の読み聞かせを中心としたコンサートを星のホールで実施します。 2公演

(4) 風のホールでピアノを弾こう ★3

小学生から高齢者までの幅広い年齢層の方々を対象に、スタインウェイ社製とベーゼンドルファー社製のフルコンサートグランドピアノを弾くことができる機会を提供

します。令和6年度は、新たに三鷹市民粋（在勤・在学を含む）の回を設け実施します。

4 講座

(5) 鑑賞事業に関連したワークショップ・講座等 **再掲**

シュテファン・テミング リコーダー・リサイタル 関連ワークショップ

川口成彦 フォルテピアノ・リサイタル 関連講座

ミレニアル世代のアーティストのコンサート 関連講座

レ・ヴァン・フランセ公演 公開リハーサル

アヌーナ公演 関連ワークショップ

受託事業（1事業） ※三鷹市教育委員会からの受託事業

1 教育普及事業（1事業）

(1) 小学校訪問演奏事業

平成17年度から実施しており、学校の音楽室等で演奏家によるクラシック音楽の生演奏と演奏家と小学生がコミュニケーションを取りながら楽器に親しむ機会を提供します。 30 講座（1日2講座・15 小学校）

音楽部門合計 16 事業（令和5年度比増減なし）

演劇部門

<令和6年度の特徴>

- ★1 演劇事業では、古典落語の名作「らくだ」をモチーフとした落語とダンスが融合したエネルギッシュな公演を実施します。
- ★2 映画事業では、チャップリン作品を取り上げ、多くの名作を上映します。

自主事業 (27 事業)

1 朗読事業 (1 事業)

(1) 「太宰を聴く」～太宰治朗読会～第23回

今もなお人気の衰えることのない太宰治作品の朗読会を桜桃忌の時期に開催します。過去の公演はいずれも完売となっており、大変人気の高い事業です。出演者は、現在検討中です。 1公演

2 演劇事業 (4 事業)

(1) CHAiroiPLIN (チャイロイプリン) おどる落語「らくだ」 ★1

小説・童話などをモチーフに、深い洞察力によって、古今東西の名作をダンスパフォーマンスに仕上げていく劇団「CHAiroiPLIN」。その躍動感溢れるステージは、観客の五感と想像力を、大いに刺激していきます。今回は古典落語の名作「らくだ」をモチーフに舞台を展開します。そして、人気・実力ともに優れ、今最も注目を集める落語家、桂宮治さんとのプレ企画公演も実施し、桂宮治さんには「らくだ」を語っていただきます。 8公演



おどる落語「あたま山」2022年4月 三鷹市芸術文化センター星のホール 写真：HARU

(2) 小松台東 (こまつだいひがし) 「デンギョー！」

家族の、何気ない会話の中から、忘れかけていた人間関係の温かさを思い出させてくれる、そんな大人のセリフを書かせたら若手随一の松本哲也が率いる劇団「小松台東」。宮崎の電気工事会社を舞台に、軽妙な会話に笑っていたはずなのに、いつの間にか泣いてしまっているような、全編宮崎弁で綴る良質な会話劇をお届けします。 12公演

(3) MITAKA “Next” Selection 25th (若手劇団フェスティバル)

大人の鑑賞にも十分堪える舞台を作り、次の世代を担っていくであろう若手劇団を集めて開催する演劇フェスティバルの25回目です。出演した多くの劇団が、その後飛躍を遂げていることから、演劇界の登竜門として注目を集めています。演劇を楽しむ多くの若い市民の刺激となり、演劇の裾野が広がることを期待します。 24公演

(4) 劇団普通「病室」

その筆力と演出力に大きな期待を集める「劇団普通」の代表作である「病室」を上演します。高齢化社会や介護の問題が日々ニュースで流れる昨今、茨城の病院を舞台に、さまざまな事情を抱えた入院患者、見舞いに来る家族、医師、看護師などが織りなす人間模様を通して、人間関係を深く鋭く描いた、どの世代の胸にも響く、珠玉の会話劇です。12公演



「病室」2021年7月～8月 三鷹市芸術文化センター星のホール 写真：福島健太

3 映画事業（1事業）

(1) CINEMA SPECIAL「スクリーンで見たい、チャップリン」 ★2

人間を愛し、平和を愛した、喜劇王チャップリン。文明が人間を飲み込まんばかりの時代が近付き、どれだけ歴史を繰り返しても戦争がなくなる今この時代だからこそ、チャップリンが作り上げたそのユーモアを、そして人間への愛を、大きなスクリーンで上映いたします。 12公演

<上映作品>

「キッド」「モダンタイムス」「独裁者」「黄金狂時代」「街の灯」「ライムライト」

4 落語・講談事業（20事業）

(1) 落語・講談（19事業）

人気と実力を兼ね備えた魅力あふれる出演者をお迎えしての落語会を数多く開催します。

<出演予定>柳家さん喬、柳家権太楼、柳亭市馬、立川志の輔、春風亭昇太、立川志らく、柳家花緑、林家たい平、柳家喬太郎、瀧川鯉昇、古今亭菊之丞、桃月庵白酒、三遊亭兼好、春風亭一之輔、古今亭文菊、神田伯山、桂宮治 ほか 32公演

(2) こども寄席「ぼくも、わたしも、寄席で大笑い その24」

こども寄席は、小学生に生の演芸の魅力を伝える「小学生以上の回」と、0歳児から入場可能ということで子育て世代に大変好評をいただいている「未就学児の回」の2公演を開催、令和6年度はメインの出演者として、TV番組「笑点」でも大人気で、実生活でも3人のお子さんの父親でもある桂宮治さんにご出演いただきます。また、毎年大評判の「未就学児の回のお客様係を小学校4年生から6年生に担ってもらう体験講座」を引き続き実施します。 2公演1講座



桂宮治（出演）



過去のお客様係体験講座風景



5 古典事業（1事業）

(1) 野村家・茂山家「東西狂言の会」

毎回完売するほどの好評を博している、野村万作・野村萬斎親子と関西狂言の茂山家との競演で贈る「東西狂言の会」を実施します。 1公演

6 教育普及事業

(1) こども寄席「ぼくも、わたしも、寄席で大笑い その24」関連講座 再掲

「未就学児の回のお客様係を小学校4年生から6年生に担ってもらう体験講座」

演劇部門合計 27 事業（令和5年度比 3 事業減）

美術部門

<令和6年度の特徴>

- ★1 三鷹市美術ギャラリー収蔵作品展の5回目を実施します。桜井浜江記念市民ギャラリーと連携した展示も行います。
- ★2 従来の美術史からこぼれ落ちた作家たちに焦点をあて、彼らの優品を紹介する企画展「発掘された珠玉の名品 少女たち 一夢と希望・そのはざままで 星野画廊コレクションより」を開催します。
- ★3 現代芸術家、荒川修作の創作活動を紹介する「天命反転～荒川修作+マドリン・ギンズが仕掛けた思考実験と冒険の世界（仮称）」を開催します。
- ★4 「アール・ブリュットみたか」を開催し、多様な芸術文化に触れられる機会を提供します。

自主事業（4事業）

1 展示事業（3事業）

(1) 三鷹市美術ギャラリー収蔵作品展 V ★1

令和2年度から5回にわたって開催する収蔵作品展の第5回として、会期を前期後期に分け、20作家約280点を展示します。

展示の際には、作家名や作品名などのキャプションは掲示せず、作品に関する情報はペーパーに記述し、必要とする場合はそのペーパーを見ながら作品に対峙することができるようにするなど、見る者が作者となって、今一度作品を再創造する場としての美術館のありようも提示します。また、桜井浜江記念市民ギャラリーに一部の作品を展示することで、二館の連携と回遊性の向上を図ります。

あわせて、関連ワークショップを開催します。 1展示（前期・後期）・1講座

出品作家（予定）：福島修子、藤江民、筆塚稔尚、堀浩哉、前田常作、最上壽之、元永定正、森田沙伊、山下菊二、山本正（桜井浜江記念市民ギャラリー）、横尾忠則、横山操、吉田穂高、吉田政次、依田順子、依田寿久、依田洋一朗、米谷清和、李禹煥、和田賢一

(2) 発掘された珠玉の名品 少女たち 一夢と希望・そのはざままで 星野画廊コレクションより ★2

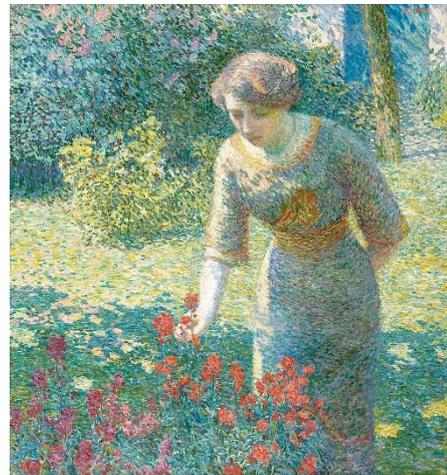
本展は、独自の視点で日本の近現代美術作品を見極めてきたコレクター星野桂三氏が蒐集した、女性をテーマにした人物画の展覧会です。

星野桂三氏は1973年京都で星野画廊を開廊して以来、自らの美意識と価値判断により作品を蒐集し紹介しています。画廊では、表舞台で脚光を浴びた有名画家の紹介とは

別に、当時活躍しながらも美術史から落ちこぼれてしまった不遇な芸術家とその作品を発掘し、世に問い直すことに主眼をおいています。京都洋画画壇の歴史を一望するコレクションをはじめ、国画創作協会関連画家の作品や大正期の日本画コレクションは、その厚みと質の高さで知られ、なかでも甲斐莊楠音や秦テルヲ、不染鉄、玉村方久斗、久保田米僊などの作家は関西のみならず全国区でも近年再評価されてきています。この展覧会は星野氏のコレクションをまとめて紹介する初の試みであり、とくに美人画にテーマを絞り美術史の表舞台では語られなかった個性豊かな画家たちの作品約 120 点を紹介します。

あわせて、関連講演会及び関連ワークショップを開催します。 1 展示・2 講座

出品作家（予定）：笠木治郎吉、矢崎千代二、北野恒富、久保田米僊、島成園、秦テルヲ、甲斐莊楠音、岡本神草、玉村方久斗、松村綾子、宮本三郎、里見勝蔵、下村良之介、不染鉄ほか



太田喜二郎《花摘図》

(3) 三鷹天命反転～荒川修作+マドリン・ギンズが仕掛けた思考実験と冒険の世界（仮称） ※三鷹市との共催事業 ★3

荒川修作（1936-2010）は、1961年に渡米し以後ニューヨークを拠点として活動した現代芸術家。幼少期の戦時体験を通して、すべての人間が死なない世界を作り出したいと考えた荒川は、医者ではなく芸術家への道を選択します。1962年に生涯の伴侶となる詩人のマドリン・ギンズとの出会いを機に、作風を一変させ立体の平面図に文字や記号を配置した「図式絵画」を発表して注目を集めます。70年代に『意味のメカニズム』（絵画と書物）で国際的な評価を得て、90年代以降は「死すべき定め」を逆転させた思考実験「天命反転」の試みとして建築作品に着手します。作品のスタイルを変化させながら、人間の生と死について問い続ける姿勢は一貫して変わらず、生涯にわたり精力的な創作活動を行います。

荒川の建築のなかでも代表的な作品が、2005年三鷹市大沢に建設された集合住宅「三鷹天命反転住宅 In Memory of Helen Keller」（以下、三鷹天命反転住宅）です。14色の鮮やかな色彩の壁、凸凹としたざらついた床面、人間の感覚を絶えず刺激する歪んだ空間は、新たな身体活動を誘発させるための仕掛けであり、体験できる建築として世界中から注目されています。

本展では平面作品から建築作品へと移行した思考の変遷と住宅の構想に至るまでの過程を追うとともに、私たちが普段当たり前だと思っていることに対して、異なる視点を持つことの意味を観客とともに考える展示を目指します。

2 教育普及事業（1事業）

- (1) 「三鷹市美術ギャラリー収蔵作品展Ⅴ」関連ワークショップ **再掲**
- (2) 「発掘された珠玉の名品 少女たち 一夢と希望・そのはざままで 星野画廊コレクションより」関連講演会・関連ワークショップ **再掲**
- (3) 美術ワークショップ
「ワークショップ こどもアートクラブ」 1講座

受託事業（1事業）※三鷹市からの受託事業

1 展示事業（1事業）

- (1) アール・ブリュットみたか ★4 **新規**

共生社会の推進と障がい者の芸術文化活動の支援を進めるとともに、多様な芸術文化に触れられる機会の提供を行うため、アール・ブリュットみたかを開催します。公募作品のコンテストや、アール・ブリュット作家の作品の展示を、美術ギャラリーや桜井浜江記念市民ギャラリー等で行う予定です。

本事業は、令和4年度から三鷹市商店会連合会等が三鷹市から補助を受けて実施していましたが、令和6年度からは芸術文化活動事業として、財団と三鷹市が連携し実施するものです。主催はアール・ブリュット実行委員会とし、財団は、事務局機能を受託します。

美術部門合計5事業（令和5年度比2事業増）

文芸部門

<令和6年度の特徴>

- ★1 みたか井心亭文化事業において、井心亭のさらなる魅力を多くの市民等に発信するため、季節の風情を楽しむ夜の茶会を開催します。
- ★2 山本有三顕彰事業において、山本有三及び山本有三記念館の魅力を広く周知するため、没後50年を記念した企画展や復刊本の作成に取り組みます。
- ★3 吉村昭顕彰事業において、吉村昭が執筆活動を行っていた書齋建物を移設・再現し、展示や交流ができる機能を付加した「三鷹市吉村昭書齋」で、吉村昭の遺愛品や書籍などを展示し、吉村昭の業績や作品の周知に取り組みます。
- ★4 太宰治顕彰事業において、新たな来場者の獲得を目指し、三鷹市の寄贈・寄託資料を最大限活用した展示会開催に加え、昨年度寄贈を受けた未発表資料を太宰治展示室で初公開します。

自主事業（みたか井心亭文化事業・3事業）

1 教育普及事業（3事業）

(1) 茶道体験教室

純和風数奇屋づくりのみたか井心亭で、日本の伝統文化を体験していただく「茶道体験教室」を実施します。みたか井心亭で茶会を開催している三鷹市茶道連盟と連携してお茶を点（た）てる等の茶道の基本的な作法を体験していただきます。 6講座

(2) 季節の風情を楽しむ夜の茶会 ★1 新規

炉と風炉の切り替え時期に合わせ、季節の風情、移り変わりを楽しむ茶会を平日の夜に開催し、井心亭の魅力を発信します。 2講座

(3) 華道体験教室

日本の伝統文化を体験していただく「華道体験教室」を実施します。みたか井心亭の迎え花の生け込みを委託している三鷹市華道連盟と連携して生け花の基本形を学んでいただきます。 3講座



指定管理事業①（山本有三顕彰事業・12事業）

1 展示事業（3事業）

- (1) 企画展① 没後50年 山本有三「濁流 雑談 近衛文麿」展—奔流する創作の世界—（仮称） ★2

昭和48年、山本有三は20年余りの沈黙を経て、「濁流 雑談 近衛文麿」の連載を開始しました。親交のあった近衛文麿を題材とした新境地を開く作品でしたが、有三の死により、未完のまま絶筆となりました。作家としての集大成であった可能性を秘めた本作を、有三と近衛との親交を示す資料とともに紹介・解説します。併せて、生まれ故郷の栃木市にある有三ゆかりの施設と連携し、両市が実施する企画展の来館者に対して記念品を配布し、各施設の更なる周知と魅力の発信に努めます。 1展示・1講座

- (2) 企画展② 戯曲から小説へ—越境する有三文学を読む—（仮称）

山本有三は、その創作活動を劇作家として開始していますが、大正15年、「朝日新聞」に長編小説「生きとし生けるもの」を連載して以降は、小説家としても活躍しています。戯曲と小説を並行して執筆し、両分野に代表作を持つ有三作品の特性と、その魅力について紹介します。 1展示

- (3) 没後50年記念 復刊本製作事業 ★2

山本有三没後50年の記念事業として、市場に流通していない「無事の人」と、企画展で取り上げる「濁流 雑談 近衛文麿」を収録した復刊本の製作に取り組みます。

2 教育普及事業（9事業）

- (1) ガイドボランティア事業

山本有三の生涯や作品、文化財である建物について来館者の理解を深めるため、登録ボランティアによるガイドを実施します。また、ガイドの資質向上のための見学会及び研修会を行います。 2講座

- (2) 春の朗読コンサート

大正末期の建物の風情を生かし、山本有三作品の朗読と作品の雰囲気合わせた楽器とのコラボレーションが楽しめる朗読コンサートを2夜連続で実施します。2公演

- (3) 秋の朗読会

山本有三記念館開館記念日であり、山本有三が制定に携わった「文化の日」でもある11月3日に、山本有三の暮らした洋館で、作品の朗読会を実施します。1公演



- (4) 夏休み子どもワークショップ 「文選」おしごと体験～「活字」を組み合わせて「ドット文字」をつくってみよう～
夏休み中の小学生を対象に、山本有三作品「路傍の石」の主人公吾一も経験した文選の作業を体験し、作品を身近に感じてもらえるワークショップを実施します。 1 講座
- (5) 子ども向け解説「山本有三ってどんなひと？—洋館を探検しながら、山本有三を知ろう—」
夏休み中の小学生を対象に、山本有三や山本有三記念館について理解を深めることのできる解説を記念館職員が実施します。解説にあたっては、子ども向けのわかりやすい内容の解説シートを作成し、配布します。 2 講座
- (6) 山本有三記念館スケッチコンテスト
山本有三記念館の建物としての魅力と「文化の薫り高い三鷹」を広く発信するため、記念館や有三記念公園を描いたスケッチ作品を公募し、コンテストを実施します。
1 展示
- (7) おはなし会
「子どもたちに本を」との思いからミタカ少国民文庫を開設するなど、子どもたちの読書環境の充実に尽力した山本有三の意志を継承し、未就学児を対象としたおはなし会を実施します。また、スタンプカードを活用し、リピーターの獲得を目指します。
10 講座
- (8) アフタヌーン・ミニコンサート
山本有三記念館の施設の周知と来館者の増加を目指し、来館していただくきっかけづくりとして、週末にミニコンサートを開催します。 3 公演
- (9) 企画展① 没後 50 年 山本有三「濁流 雑談 近衛文麿」展
—奔流する創作の世界— (仮称) 関連講演会 再掲
有識者を講師として、企画展に関連したテーマで講演会を開催し、企画展への興味関心を高めます。 1 講座
- (10) 山本有三没後 50 年関連公演 ★2
没後 50 年を記念し、山本有三に関するプログラムを含んだ琵琶奏者による演奏会を、山本有三の暮らした洋館で実施します。 1 公演

指定管理事業②（吉村昭顕彰事業・4事業）

1 展示事業（1事業） ★3 新規

(1) 企画展示 井の頭での仕事 広がる吉村文学(仮)

「戦艦武蔵」「星への旅」で文筆生活への自信を持った吉村は、作品の題材を戦争のみならず医療や歴史へと広げていきます。同時期の昭和44年、吉村は家族とともに三鷹市井の頭へ転居し、そこが終の棲家となりました。転居の時期に広がりを見せた吉村文学と、「破獄」「天狗争乱」など三鷹市井の頭で執筆した代表作を紹介します。

1 展示

2 教育普及事業（3事業） ★3 新規

(1) 朗読会

吉村昭書齋にて、朗読家・俳優・アナウンサーなど出演者を招いて、吉村昭作品に親しむ朗読会を実施します。 1公演

(2) 講演会

井の頭コミュニティセンターにて、吉村昭の関係者や作品愛好者を講師に招いて、吉村昭の人柄や作品に親しむ講演会を実施します。 1講座

(3) ガイドボランティア事業

吉村昭の生涯や作品、移築した書齋について解説対応を行うガイドボランティアの養成に向けた取り組みを進めます。 1講座

受託事業（太宰治顕彰事業・6事業）※三鷹市からの受託事業

1 展示事業（3事業）

(1) 企画展示① 太宰文学と美術のまじわりー（太宰治展示室）

郷里青森の学生時代からいた画家の友人たち。上京後も同郷の画家がもたらした縁によって、その交流はますます広がりました。三鷹市に津島家から寄託された油絵全作品に加え、太宰作品の装幀などに関わった旧友の画家らとの交流、太宰治にもたらした美術の影響について紹介します。 1展示

(2) 企画展示②石井立が遺したものー編集者の喜びは《できるかぎりよき本》をつくることー（仮称）（太宰治展示室） ★4

昨年度寄贈を受けた、最晩年の太宰治を担当した石井立氏（筑摩書房編集者）旧蔵資料を、安藤宏氏（東京大学教授）監修のもと初公開します。太宰治の直筆原稿や「井伏鱒二選集」編纂における資料から、死期迫る太宰治の師匠への〈心づくし〉ともいえる「井伏鱒二選集」を取り上げます。 1展示

(3) **ブックカフェ機能を持った太宰治文学サロンの運営（太宰治文学サロン）**

太宰治文学サロンに「山内祥史文庫」を中心に太宰治の初版本等の資料を開架し、来館者が椅子に座ってコーヒー等を飲みながら本を読むことができるスペースを提供します。また、ボランティアによる太宰治ゆかりの地の案内など、引き続き来館者とボランティアの情報交換と交流の場とします。 1 展示

2 教育普及事業（3事業）

(1) **太宰治作品朗読会（太宰治文学サロン）**

朗読家・俳優・アナウンサーなど多彩な出演者を招いて、月例の太宰治作品朗読会を実施します。 12 公演



(2) **ガイドボランティア事業（太宰治文学サロン）**

みたか観光ガイド協会と協働で、来館者（個人・団体）に、太宰治文学サロンの展示や三鷹駅周辺及び近隣にある太宰治ゆかりの地を案内します。また、太宰治展示室（美術ギャラリー）への誘導を促し、2館の回遊性を高めます。 1 講座

(3) **みたか太宰治作品倶楽部（太宰治展示室）**

指定の太宰作品を事前に読んだ参加者が集まって作品の感想を自由に述べ合い、太宰文学の新たな魅力を発掘する読書会を実施します。太宰と弟子が書齋で文芸談義を交わした様子を疑似体験できる、三鷹ならではの企画です。 1 講座

文芸部門合計 25 事業（令和5年度比 4 事業増）

その他芸術文化部門

<令和6年度の特徴>

- ★1 三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリーにおいて、画家桜井浜江関連の作家を紹介する事業として、企画展を開催します。また、一般利用を促進するために施設の利便性を高める取組みや広報活動を行います。

自主事業（2事業）

1 教育普及事業（2事業）

(1) 三鷹市芸術文化センター全部見てくださいツアー

芸術文化センターを身近に感じるきっかけづくりのためのバックステージツアーです。星のホールで客席が反転する様子を見たり、風のホールのピアノの音を聞き比べてみたり、音楽練習室や美術創作室を見学したりなど、芸術文化センターを全て見ていただきます。 2講座



(2) 三鷹市公会堂探検ツアー

公会堂を身近に感じ、舞台の仕事に興味を持っていただくきっかけづくりのためのバックステージツアーです。普段見ることのない音響や照明の部屋を巡って機器に触れていただきます。また、参加者が照明卓を操作し、好きなBGMに合わせて、自分のイメージした色の照明を作るといった体験コーナーもあります。

2講座



指定管理事業（1事業）

1 展示事業（1事業）

(1) 桜井浜江企画展事業 ★1

三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリーにおいて、春季と秋季に企画展示を行います。春季には三鷹市美術ギャラリーの収蔵作品展Ⅴと連携し山本 正（桜井浜江と同時期に独立美術協会に所属していた作家）の作品展を開催します。 2展示

その他芸術文化部門合計3事業（令和5年度比増減なし）

生涯学習事業

<令和6年度の特徴>

- ★1 生涯学習講座事業では、みたか学を充実するとともに、元気創造プラザ全館融合事業の一環として元気創造プラザ連携講座を実施します。
- ★2 小・中学生向け講座事業では、市民大学の魅力を体験できる「市民大学ジュニアキャンパス」を、また、小中学生の居場所づくりや多世代交流を目的とした「子どもふらっとプレイス事業」を実施します。
- ★3 個人学習を支援するため、夏休みの自主学習スペースの開放時間を延長するとともに、夏休み以外の期間においても土日祝日を含め毎日学習室を開放します。

自主事業（7事業）

1 生涯学習講座事業 ★1

市民自らがそのライフスタイルやライフステージに沿った学びを通じて、豊かな心を育み、また学んだことを地域に返し、生かしていくという「学びと活動の循環」や、人のつながりを創出するため、地域学や趣味・教養などの講座を開催します。

- | | |
|---|-------|
| ① みたか学(ネーミングライツ企業や三鷹まるごと博物館と連携した講座等の実施) | 4 講座 |
| ② 芸術文化講座（美術、文芸） | 2 講座 |
| ③ 人財養成講座（古文書、花壇サポーター養成） | 2 講座 |
| ④ 元気創造プラザ連携講座 | 1 講座 |
| ⑤ 趣味・教養講座 | 10 講座 |

2 小・中学生向け講座事業 ★2

小・中学生が、好奇心や興味を高める体験型の講座を開催します。

- | | |
|----------------------------|------|
| ① 陶芸講座 | 1 講座 |
| ② 三鷹市芸術文化協会連携講座 | 1 講座 |
| ③ ネーミングライツ企業連携講座 | 2 講座 |
| ・スバルものづくり教室（協力：株式会社SUBARU） | |
| ・ラジオ工作教室（協力：日本無線株式会社） | |
| ④ 市民大学ジュニアキャンパス | 1 講座 |
| ⑤ 文化・教養講座 | 1 講座 |



「三鷹市芸術文化協会連携講座 はじめてのこども囲碁」

3 生涯学習センターフェスティバル開催事業

「生涯学習センターフェスティバル」を三鷹中央防災公園・元気創造プラザまるごとウェルカムデーと同時開催します。様々な生涯学習活動の紹介、発表、ワークショップ(体験)などを通して、来場者に生涯学習の楽しさを伝え、学習への興味・関心を持ってもらう機会を提供します。また、生涯学習グループの活動内容や生涯学習センター主催事業を周知することにより、グループの活性化や生涯学習センターの利用促進を図ります。

4 夏休み自主学習スペース開放事業 ★3

学校の夏休み期間に合わせ、生涯学習センターの学習室を学生等の自主学習スペースとして開放し、若い世代の生涯学習センターの利用を促進します。終了時刻は、昨年度からの延長時間をさらに拡充し、午後9時まで開放します。

5 学習スペース開放事業 ★3

従来からの日曜日の個人開放(午前9時から午後5時まで)をリニューアルし、平日は午後3時45分から午後9時まで、土日・祝日は午前9時から午後9時まで学習スペースを開放し、個人の学習を支援します。

※夏休み自主学習スペース開放事業の実施期間中は、実施しません。

6 子どもふらっとプレイス事業 ★2 新規

小中学生対象の放課後の居場所づくりと多世代交流を目的とした、子どもふらっとプレイス事業を実施します。子どもたちが気軽に遊び感覚でふらっと立ち寄り楽しめる体験プログラムを月1回水曜日の午後3時から5時まで実施します。

7 三鷹市芸術文化協会事務局事務事業 新規

三鷹市芸術文化協会を支援するため、令和6年4月から三鷹市スポーツと文化財団の事務事業として同協会事務局の事務を行います。

指定管理事業(2事業)

1 市民大学事業

(1) 総合コース

「学習の主体は市民にある」という理念の下、市民自らが主体となって地域課題や生活に根差した学習課題などを話し合い、講座を企画・運営します。学習生同士で議論し合うゼミナール形式による年間継続学習を通して仲間をつくり、その学びの成果を地域や生活の場に生かすため発表等の機会を拡充します。市民ニーズに対応するため公開講座をオンデマンド配信します。 5講座(各30回)

(2) 一般教養コース

講義を中心に、基礎的な知識・教養を習得し、自分の生活課題と社会的問題を結び付ける視点を身に付け、地域社会における自分の生き方を探ります。

- ① むらさき学苑（60歳以上対象） 1講座（全30回）
- ② むらさき学苑体験講座（60歳以上対象） 1講座（全3回）
- ③ 子育て講座 2講座（各5回）



「むらさき学苑」

(3) 市民講師養成コース

生涯学習の推進役として自らが生涯学習を通じて学んだことを地域に還元する市民講師を養成します。

- ① 市民講師養成講座 1講座（全6回）
- ② 市民講師デビュー講座 3講座（各1回）

2 生涯学習相談事業

生涯学習相談員を中心に市民や学習グループが持つ様々な要望や悩みに対する相談業務を行うとともに、市及び関係団体との連携を通じて市民の学びと活動を支援するコーディネート機能の充実を図ります。

毎週火曜日～土曜日

生涯学習事業合計9事業（令和5年度比1事業増）

広報宣伝・友の会事業

<令和6年度の特徴>

- ★1 物品販売事業において、好評につき在庫切れとなっている図録『太宰治没後70年展』、『解説山本有三記念館』について、訂正項目等を反映し、新たな寄稿文を掲載するなど修正を加え再版します。

自主事業

1 広報宣伝事業

- ① 情報誌（MARCL+）の発行（7,000部 年6回発行）
スポーツ・芸術文化・生涯学習の事業を掲載した冊子の発行。出演者のインタビュー等も取り入れ、魅力的な誌面を提供します。
- ② 広報紙（Mitaka Sports and Culture News）の発行（160,000部 年6回発行）
市内全戸配付・近隣市区新聞折り込み、みたかシティバス車内掲出により、財団の事業を広報します。
- ③ 小田急バス（武蔵境及び吉祥寺営業所管内全バス）車内中吊りポスターの掲出
- ④ 財団ホームページやX（旧ツイッター）、メールマガジンを活用した事業のPR
- ⑤ 出演者インタビュー・担当者による事業紹介動画を財団ホームページ上で配信
- ⑥ 三鷹市報への事業掲載、プレスリリースほか
- ⑦ 三鷹駅周辺等の協力店（チケットパートナーショップ）との連携による主催公演チケット購入者へのサービス

2 友の会運営事業

会員の新規募集及び管理運営（個人会員約3,600人、グループ会員5団体）

3 物品販売事業 ★1

- ① 財団オリジナル商品の販売及び山本有三・太宰治に関連した商品の受託販売
- ② 山本有三グッズ（復刻本）等の新規作成、太宰治グッズ（図録）及び山本有三グッズ（書籍）の再版

施設管理・全館融合事業

＜令和6年度の特徴＞

- ★1 指定管理事業においては、令和5年度に新たに指定管理者の指定を受けた三鷹市吉村昭書斎について、施設等の適切な維持管理に取り組みます。
- ★2 受託事業においては、三鷹中央防災公園・元気創造プラザ総点検の総括等を踏まえ、市民に施設の魅力を知っていただく全館イベントの開催など全館融合業務を実施します。

指定管理事業（13事業） ★1

三鷹市が設置した下記施設のそれぞれの条例、条例施行規則等に基づき、指定管理者として、利用者の安全性の向上を図るために施設、設備の適切な維持管理に努めるとともに、利用者サービスの向上に持続的に取り組みます。

指定管理施設	指定管理期間
三鷹市芸術文化センター	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間）
三鷹市公会堂	
三鷹市美術ギャラリー	
みたか井心亭	
三鷹市山本有三記念館	
三鷹市桜井浜江記念市民ギャラリー	
三鷹市吉村昭書斎	令和5年9月1日から令和8年3月31日まで（2年7か月間）
SUBARU 総合スポーツセンター *1	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで（5年間）
三鷹市新川テニスコート	
三鷹市大沢総合グラウンド	
三鷹市生涯学習センター	
三鷹中央防災公園	
三鷹市大沢野川グラウンド	令和5年2月1日から令和9年3月31日まで（4年2か月間）

*1 SUBARU 総合スポーツセンターは、弓道場・アーチェリー場を含む。

受託事業（2事業）※三鷹市からの受託事業

1 太宰治文学サロン管理運営業務 再掲

太宰治を通じ多くの市民が訪れ、交流できる拠点として運営します。

2 元気創造プラザ施設管理業務

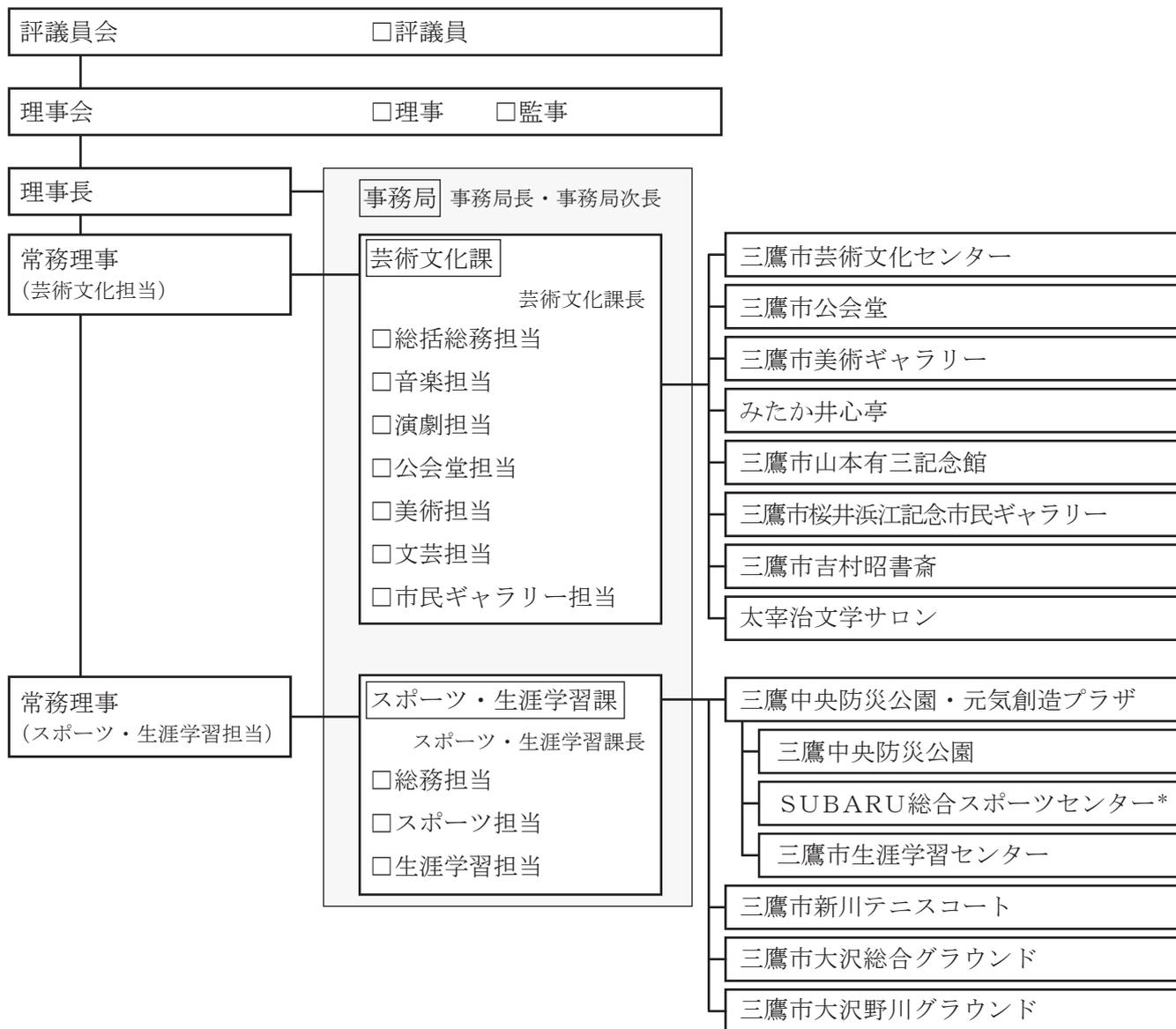
元気創造プラザの三鷹市直営施設部分及び共有部分の管理業務（設備管理業務、清掃業務、受付案内業務等）について効率的な管理運営を行います。

3 元気創造プラザ全館融合業務 ★2

元気創造プラザ全体として組織を超えた関係性の編み直しと市民に居心地の良い居場所づくりのため、全館融合イベント「三鷹中央防災公園・元気創造プラザまるごとウェルカムデー」を開催するとともに一体的な施設運営を進めます。また、元気創造プラザ全館融合業務の一環として、生涯学習事業の中で「元気創造プラザ連携講座」を実施します。

受託業務	受託期間
太宰治文学サロン管理運営業務 再掲	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで（1年間） （予定）
元気創造プラザ施設管理業務	
元気創造プラザ全館融合業務	

公益財団法人三鷹市スポーツと文化財団組織図



*SUBARU総合スポーツセンターは、
弓道場・アーチェリー場を含む。